

平成27年3月6日

上ノ国町議会議長

若 狭 大四郎 様

氏 名 干 場 清 保



平成26年度政務活動費に係る収支報告について

上ノ国町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり平成26年度政務活動費収支報告書を提出します。

政務活動報告書

1 政務活動名

震災復興・林業調査研究

2 政務活動内容

(1) 平成26年11月7日・8日

岩手県山田町（田野畑漁協）及び宮古市の復興状況

(2) 平成27年1月15日

伊達市木質ペレットプラント

伊達市総合体育館

3 政務活動成果

(1) 岩手県山田町（田野畑漁協）及び宮古市の復興状況

山田町役場で担当者から災害及び復興状況の調査を予定していたが、山田町の状況の調査を予定していたが、山田町の臨時議会開催のため、状況案内ができなくなりました。現地を見て巡り、漁協（田野畑漁協）に立ち寄ることができ、職員から説明を受けた。漁港及び施設はほとんど整備されていた。また、漁船も新船ばかりであった。たまたま入港してきた漁船には最近ないほどのさけが積み込まれ大豊漁であった。

道路（国道45号）は、山田町から宮古市までの14kmについては、山の上へ移設され、29年度完成を目指して工事中であった。業者は20社で、北海道から業者や従業員も就労しておりました。

また、JR山田線の34橋梁が津波で押し流された。閉伊川は逆流しながら、多くの漁船を押し上げられていた。鉄橋が上流へ向かって流され、想像もできない姿となっていた（山田線は宮古市以南は現在も不通である）。

宮古市のホテルで津波の恐ろしさと経験した話を聞くことができた。

入江の防波堤（厚さ15m、高さ38m）が一気に押し流された。

過去の津波では（昭和では10m、明治では15m、平成（今回）17.5m）、今回の津波は過去最大であった。被害も過去最大で、建物や車両がゴミのように流されて、現在もそのまま残っているところもあった。

今回の災害を経験し、日常から災害に対する心の準備が必要であること、また、生活に必要な物を最小限で良いから準備しておくべきと思われた。

以上のようなことから、我々も災害（台風、雪害、水害等）についての知識を身につけおくことが必要であると思われた。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～○○調査研究、○○研修、○○広報・広聴、○○会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

別紙2

(2) 伊達市木質ペレット工場

伊達市総合体育館（暖房に木質ペレットを使用）

今回の調査目的は、製材工場で販売される製材品は乾燥して販売するためこの燃料費が膨大に必要となるので、このため工場から排出される木くず（バーク）を燃料として使用できないか模索している。このため、道内各地域で木質ペレットを製造しているので、木くず（バーク）を燃料として使用方法がないかを調査した。

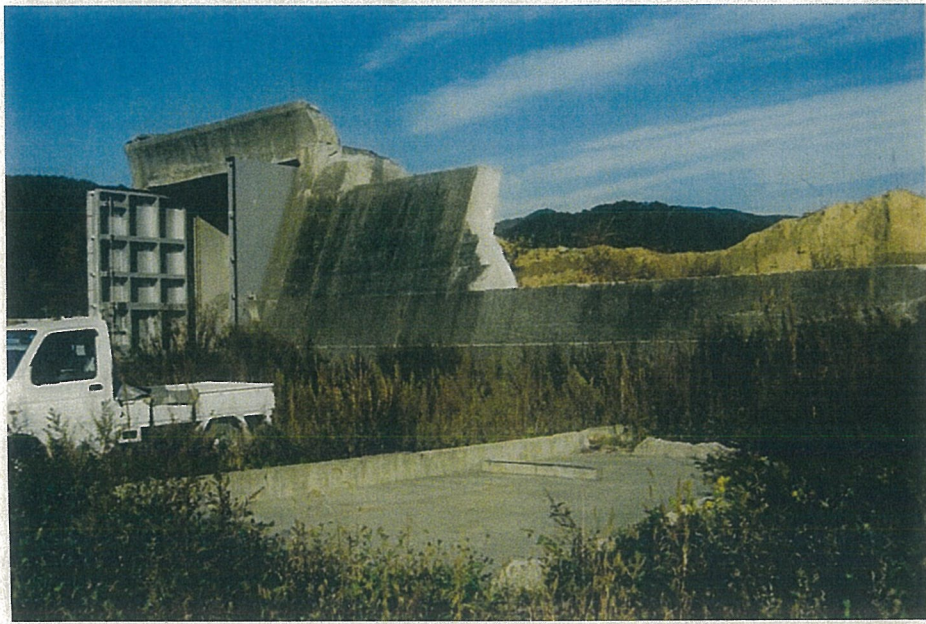
現在のところ、ペレットではなく、チップ状にして、燃料とすることができる。このためのボイラーの価格等は今回の調査で、わからなかったので、今後も調査の必要があると考えられた。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

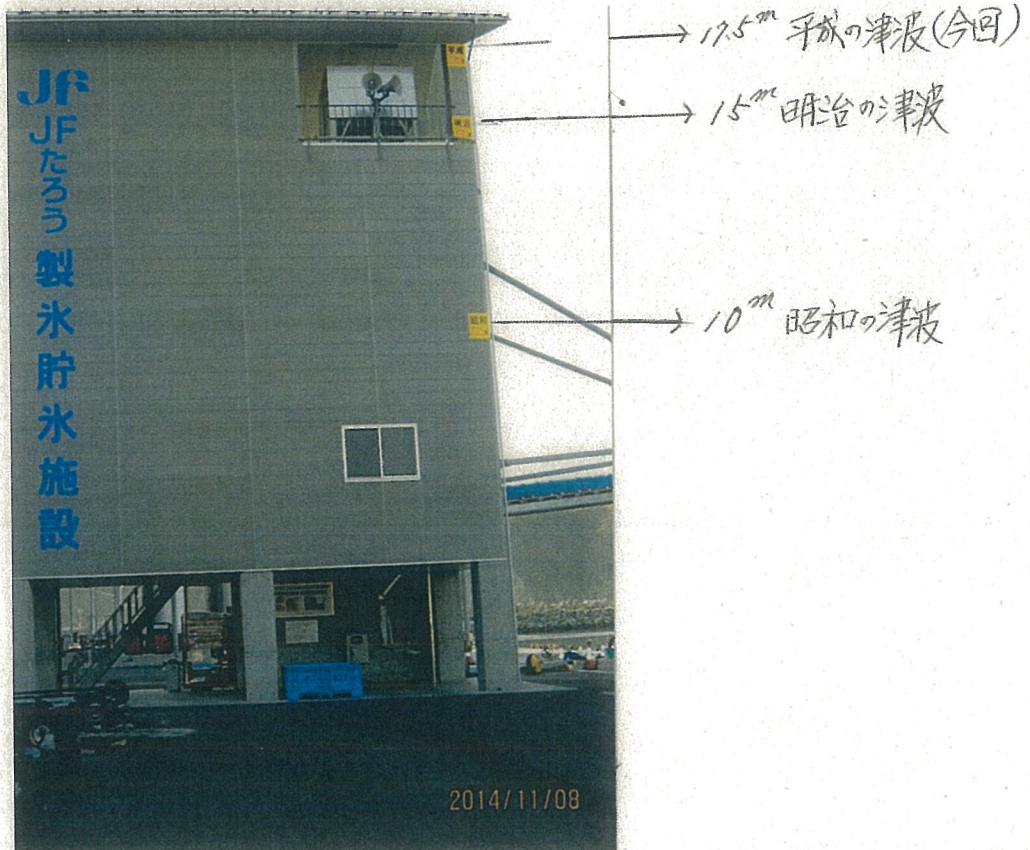
(例～○○調査研究、○○研修、○○広報・広聴、○○会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

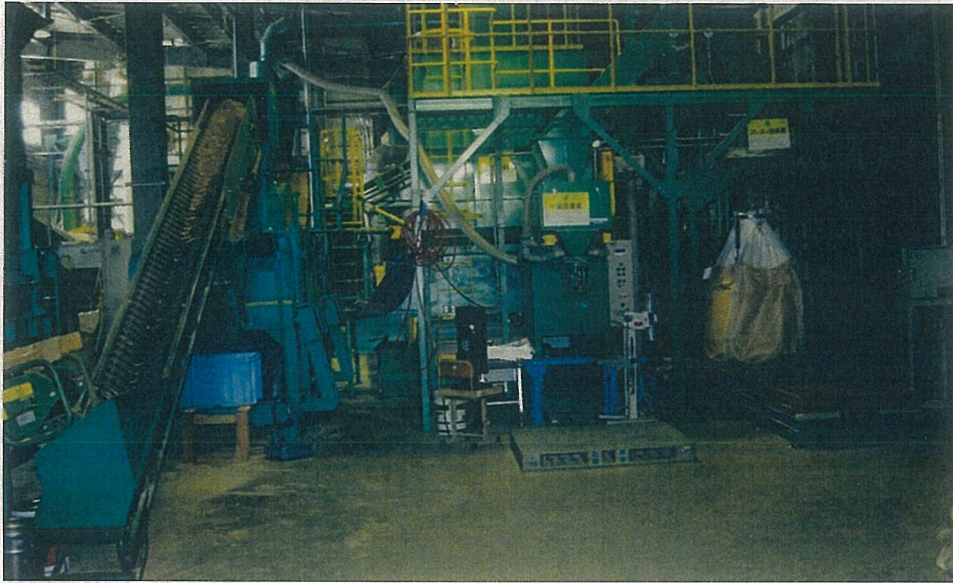
岩手県山田町 震災の被害状況 (現在)



岩手県宮古市 震災時の津波高



伊達市木質ペレットプラント内部



木質ペレット

